

## 第 33 回日本母乳育児シンポジウム

会場開催

日時 8 月 30 日(土)～31 日(日)

会場 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ 赤ちゃんの力・お母さんの力を引きだす  
母乳育児—今の時代に

プログラム ワークショップ「NICU における母乳育児を考へる」國安ゆかり(助, 国立病院機構岡山医療センター), 古田見子(看, 岐阜県総合医療センター), 村瀬正彦(小, 昭和医科大学横浜市北部病院こどもセンター), 樋口昌子(助, 東京都立墨東病院)／特別講演「母乳が整える子の腸内細菌叢—脳腸相関との関係」永岡謙太郎(東京農工大学大学院農学研究動物生命科学部門)／シンポジウムⅠ「できることから始めよう 10 カ条—どんな時でも母乳育児ができるように」／Ⅱ「時代とともに母乳育児—変えてはいけないもの・変わっていくもの」／乳頭ケア実践研修(定員 50 名)／ほか

参加費 会員 1 万 1000 円, 未会員 1 万 3200 円, 学生・母親・父親など一般(医療者, 専門家, 有資格者以外)3300 円, 乳頭ケア実践研修 2200 円, 懇親会費 6600 円

参加申込方法 下記 URL の peatix より, または FAX, 郵送, E-mail で下記事務局に申込書を送る

HP <https://33thsympo.peatix.com>

問い合わせ先 一般社団法人日本母乳の会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4

☎ 03-5318-7383 FAX 03-5318-7384

✉ [sympo@jbabf.or.jp](mailto:sympo@jbabf.or.jp)

HP [https://jbabf.smoosy.atlas.jp/ja/next\\_symposium33](https://jbabf.smoosy.atlas.jp/ja/next_symposium33)

## 日本フォレンジック看護学会 第 12 回学術集会 in 滋賀

会場開催 WEB 開催

日時 現地会場+ライブ配信 9 月 6 日(土)～7 日(日)／オンデマンド配信 9 月 16 日(火)～10 月 19 日(日)

会場 医療研修施設ニプロ iMEP(アイメップ)(滋賀県草津市)

テーマ 社会から求められるフォレンジック看護学—今, そのケアの意味を考えよう

プログラム 大会長講演「社会から求められるフォレンジック看護学を目指して」立岡弓子(滋賀医科大学医学部実践看護学講座母性看護学・助産学教授)／教育講演Ⅰ「地域の安全・安心のために」一杉正仁(滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授)／シンポジウムⅠ「小児突然死に対する家族対応—フォレンジック看護の役割」\* 高島光平(滋賀医科大学小児科学講座助教), 尾島由美(済生会滋賀県病院, 小児救急看護認定看護師), 木村里美(済生会滋賀県病院副看護部長)／教育講演Ⅱ「性犯罪被害者の現状と切れ目のない支援」\* 佐伯美美(滋賀県警察本部犯罪被害者等支援室室長), 喜多伸幸(滋賀医科大学実践看護学講座クリティカル教授), 西川貴子(医療法人真心会南草津野村病院看護部長), 松村裕美(おうみ犯罪被害者支援センター支援局長)／Ⅲ「大規模災害における人命救助と看護師の役割」\* 塩見直人(滋賀医科大学救急集中治療医学講座教授), 佐伯ふみ子(滋賀医科大学医学部附属病院副看護師長, DMAT 隊員)／Ⅳ「矯正医療において看護職に期待すること」武田義之(法務省矯正局近畿矯正管区専門職)／シンポジウムⅡ「矯正医療における健康教育の役割」\* 望月明見(大手前大学国際看護学部准教授), 中村磨美(滋賀医科大学社会医学講座法医学部門准教授), 辻本哲士(滋賀県精神保健福祉センター所長)  
※ \* マークは CloCMiP® レベルⅢ 認証申請の選択研修に該当

参加登録期間 [第 1 期] 8 月 6 日(水)まで, [第 2 期] 8 月 7 日(木)～10 月 19 日(日)

登録方法 下記 Web サイトの「事前登録・申込はこちら」より

HP <https://12thjafn.wixsite.com/presentation/participation>

参加費 [第 1 期] 会員 7000 円, 非会員 9000 円, 学生(大学院生除く)1000 円, [第 2 期] 会員 8000 円, 非会員 1 万円, 学生(大学院生除く)1000 円, 懇親会 1 万円

※ 学生は在籍証明書(学生証)の写しを事前参加登録システムよりアップロード

問い合わせ先 学術集会事務局

滋賀医科大学医学部実践看護学講座

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

✉ [12thjafn@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:12thjafn@belle.shiga-med.ac.jp)

HP <https://12thjafn.wixsite.com/presentation>

## 第21回日本周産期メンタルヘルス学会 学術集会

会場開催 WEB開催

**日時** 現地会場 9月26日(金)～27日(土)／オンライン  
デマンド配信 10月6日(月)～31日(金)(予定)

**会場** 一橋講堂(東京都千代田区)

**テーマ** 生きる力を次世代につなぐ周産期メンタルヘルス

**プログラム** 会長講演 春名めぐみ／特別講演1「助産におけるメンタルヘルス(仮)」井村真澄／シンポジウム1「家族支援」池田真理, 川島広江, 平野翔大, 柳村直子／セミナー 北村俊則／研修・教育 藤平和吉(発達障害), 福井直樹(薬物療法), 溝口史剛(小児虐待予防)／特別講演 笠井清登／シンポジウム2「大学病院における周産期リエゾンの課題と展望(仮)」齊藤萌子, 熊倉陽介, 鈴木研資, 矢澤博美／支援者支援ワークショップ／ほか

**参加登録・支払期間** [事前登録] 8月31日(日)まで, [通常登録] 9月1日(月)～10月26日(日)

**登録方法** 下記 Web サイトの「参加登録フォームはこちら」より

**HP** <https://procomu.jp/pmh2025/registration.html>

**参加費** [事前] 会員1万円, 非会員1万2000円, 学生1000円, [通常] 会員1万2000円, 非会員1万3000円, 学生2000円, 懇親会3000円, 支援者支援ワークショップ(定員50名, 先着順)1500円

**問い合わせ先** 運営事務局

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

☎ 03-5520-8824

✉ [pmh21@procom-i.co.jp](mailto:pmh21@procom-i.co.jp)

※問い合わせには件名に「第21回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会」と記載

**HP** <https://procomu.jp/pmh2025/index.html>

## 第39回日本母乳哺育学会学術集会

会場開催

**日時** 9月27日(土)～28日(日)

**会場** つくば国際会議場(茨城県つくば市)

**テーマ** つながる支援 広がる未来—母乳育児を全方向から見つめる

**プログラム** 特別講演「周産期の親子の睡眠の謎に迫る(仮)」柳沢正史(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構機構長)／教育講演「社会的要因・制度的要因と母乳育児—育児方法の希望を叶えられる社会とは」松島みどり(筑波大学人文社会系准教授)／シンポジウム1「母乳育児を支える社会・医療制度とは?—日本の現状から見つめ直す」名西恵子(東京大学大学院医学系研究科国際交流室兼国際保健学専攻講師), 石渡勇(日本産婦人科医会会長), 国光あやの(衆議院議員, 医師, 医学博士)／2「母乳育児を支える医療—多職種連携と地域の実践」野口里枝(茨城西南医療センター病院産婦人科科長), 中村由里(筑波大学医学医療系小児科学病院助教), 小西久美(筑波大学附属病院薬剤部, 授乳婦専門薬剤師, 授乳婦薬物療法認定薬剤師)／3「母乳育児を支える地域の資源—切れ目のない支援を目指して」谷口純子(社会医療法人若竹会つくばセントラル病院B2病棟主任, 助産師), 吉澤志麻(訪問看護ステーションベビーノ, 看護師／IBCLC), 井上美穂子(ラ・レーチェ・リーグ日本リーダー)／教育委員会主催勉強会「周産期から始まるこどもの養育環境について」基調講演「妊娠中の母親のメンタルヘルスとその後の児への影響」毛利彰宏(藤田医科大学大学院保健学研究科教授)／シンポジウム「周産期の養育環境を見直す」斎藤誠(筑波大学, 茨城県立中央病院小児科), 秋葉和敬(秋葉病院理事長), 滝元宏(東京都立荏原病院小児科)

**問い合わせ先**

・主催事務局 社会医療法人若竹会つくばセントラル病院地域連携室内

〒300-1211 茨城県牛久市柏田1589-3

☎ 029-874-8592(直通)

・運営事務局 有限会社ビジョンブリッジ

〒162-0833 東京都新宿区笹筒町43 新神楽坂ビル2階

☎ 03-5229-6881

✉ [jsbr@visionbridge.jp](mailto:jsbr@visionbridge.jp)

**HP** <https://supportoffice.jp/jsbr39/index.html>

掲載している情報は2025年6月30日時点のものです。  
最新の情報は主催元にご確認ください。